

いつも町民に寄り添う かかりつけ病院であるために

「かかりつけ病院」、この言葉に町民の皆さまは、どのような印象をお受けになるでしょうか？

「体調について何でも相談できる・ご近所にある・親切な・敷居が低い・馴染みの」、といったところでしょうか？ もし、今の町立病院をそう思っただけで利用して頂いているのなら病院職員として幸いです。今回は病院の一部門である放射線科から、かかりつけ病院がもつ重要な役割「早期発見・早期治療、専門病院への紹介」をテーマにお話していきます。

一般的にかかりつけ病院とは、風邪などの日常的な病気や軽いケガ、生活習慣病（高血圧・糖尿病・高脂血症）、安定した内科的慢性疾患（胃腸疾患・心臓病・呼吸器疾患）、加齢や酷使によって進行した整形外科的疾患（変形性関節症・腰痛症）などを診る病院や診療所のことを言います。そこで、長年にわたって全身の症状や体調を薬や検査で管理している間に大切になってくるのが、早期発見と早期治療です。早期発見・早期治療と聞くと、とりわけ「がん」に対する発見・治療を想像しがちですが、心疾患（不整脈や狭心症）・肺疾患・骨粗鬆症、また肩や膝の痛み・腰痛など整形外科的疾患の原因についても早期発見・早期治療が重要になります。

具体的にはかかりつけ医が勧める時期に各種検査を受けるといふこととなります。町立病院に設置されている主な放射線機器は、一般撮影装置（レントゲン検査と言われるもの）、マルチスライスCT（体を断層像で調べる検査）、骨密度測定装置（骨粗しょう症の検査）があります。また、平成23年度からは検査を受けた患者さんの放射線検査画像をすべて、PACS（医用画像保存通信システム）と言われる放射線科のコンピュータに保管しています。これにより、患者さんが町立病院で受けられてきた検査結果をもとに、先生が町立病院では行えない精密検査や高度な治療が必要と判断した場合、患者さんのご要望にも合わせて病院紹介を行います。放射線検査のデータ紹介だけでも年間約250件、紹介先の病院は50施設以上にのぼり、紹介状（診療情報提供書）と持ち合わせてご紹介しています。紹介状は、〇〇病院〇〇科先生宛てという形で紹介しますが、この〇〇科には、腎臓内科・血液内科・内分泌内科・心臓血管外科・放射線科・リハビリテーション科など、通常、一般の患者さんがご自分の考えや選択で行くことがない診療科の紹介も含まれ、町立病院を利用する患者さんに最適な専門病院の紹介が行わ

れています。そして今度は逆に、紹介先の専門病院から「逆紹介」という形で、患者さんの病状が安定した後の治療と経過観察を町立病院で行う連携もとられています。また、当院からの紹介状がなく他の医療機関を受診した場合「初診時選定療養費」（名寄市立総合病院では750円）を負担しなければならぬ病院もあります。

かかりつけ病院として町立病院への継続的な受診は、病状・病歴・健康状態の把握だけに留まらず、病気の早期発見・早期治療が可能にし、もしもの時にも素早い対応で適切な専門病院や高度救命病院への紹介ができるようになります。

最後に結びの言葉とさせていただきますが、天塩に住む町民一人ひとりの存在は、故郷を離れた息子さんや娘さんからも健康を心配されている「お父さん、お母さん」であったり、お孫さんから見ると天塩の「やさしいおじいちゃん、おばあちゃん」であったり、また、昔からの大事なご友人までを含めると、たくさんの人からいつまでも元気でいて欲しいと思われている存在です。そう考えますと、町立病院は町民3,200人のための病院にとどまらず、町民の何倍にもおよぶ人たちの思いや願いを叶えなければなりません。町民が医療の面で安心して暮らし続けられるように、いつも町民に寄り添う病院でありたいと思っております。

【プロフィール】
 H3. 北海道大学医療技術短期大学部
 診療放射線技術学科卒業
 H3. 札幌鉄道病院（現 JR 札幌病院）勤務
 H9. 天塩町立国民健康保険病院勤務

【資格】
 診療放射線技師免許
 X線 CT 認定技師（認定機構）
 肺がん CT 検診認定技師（認定機構）
 Ai（死亡時画像診断）認定技師（技師会認定）
 放射線機器管理士（技師会認定）他

【所属学会】
 日本診療放射線技師会
 日本放射線技術学会
 日本CT検診学会 他
 稚内放射線技師会学術理事
 H24年 画論 20th、1～32列 CT 検査部門
 優秀賞受賞施設

文責 放射線科 津田 健志

